

# 大分県公立学校教頭会研究大会の提言原稿執筆要領

大分県公立学校教頭会

## 1 字数・枚数について

- (1) 体裁 20字 × 45行 2段組 A4判縦 横書き
- (2) 原稿 使用ソフト「Word」または「一太郎」によるワープロ原稿
- (3) ページ数 2 ページ

## 2 執筆の仕方について

### (1) 1ページ目

上部 6 行に次のことを記載する。

- ※ 分科会名 研究課題 ○○に関する課題
- ※ 提言の研究主題 及び 副題
- ※ 提言者 所属校名 氏 名

### (2) 本文の開始 7行目より記載する。

### (3) 提言項目

- ① 主題設定の理由 ( 7行目から )
- ② 研究のねらい
- ③ 研究の経過
- ④ 研究の概要
- ⑤ 研究の成果と今後の課題
- ⑥ 協議の柱

### (4) フォント 明朝体 ( 10.5 ポイント )

※ 装飾等の体裁については,大会事務局で行ないますので,見出し等にゴシック体や倍角文字等は使わず,標準字体のみで記載してください。

### (5) 余白 上下・左右 20mm

### (6) 文体 常体( ○○である。○○と考える。 )

### (7) 図・表等 見やすい大きさに縮図も可,写真は可

### 3 表記

第〇分科会	研究課題	〇〇〇に関する課題
	研究主題	〇〇〇〇〇〇〇〇
	— サブテーマ	〇〇〇〇〇〇〇〇 —
	提言者	〇〇〇立〇〇〇学校 氏名
1 主題設定の理由	……	4 研究の概要
2 研究のねらい	……	5 研究の成果と今後の課題
3 研究の経過	……	6 協議の柱
		教頭として、……

### 4 原稿への依頼事項

#### (1) 研究主題について

- ① 全公教第11期全国統一研究主題をふまえ設定する。
- ② できるだけ具体性をもった研究主題とする。

#### (2) 副題について

研究主題が広義の場合や研究の意図・方向性を示す場合に副題を設定し具体化する。  
研究内容を端的に表すものとする。

#### (3) 主題設定の理由

- ① 主題設定に至った背景、経過、地域性等々、課題との関係を考慮し記述する。
- ② 主題設定の理由が明確になるよう、社会的背景や自県の教育課題等を踏まえて簡潔にまとめる。

#### (4) 研究のねらい

課題は何か、何を明らかにしようとしているのか。また、課題に対してどのような方法で解決しようとしているのかを明確に記述する。

#### (5) 研究の経過

研究に取り組んできた経過、取組内容を、協働性を含め簡潔に記述する。

#### (6) 研究の概要

- ① 提言の中心となる部分であり、執筆量は十分とるようにする。
- ② 研究の継続性・協働性・関与性を十分意図した記述をする。  
「いつ、誰に、何について、どのような関わりをしたか」など教頭の関与性・指導性が具体的に見えるようにまとめる。
- ③ 課題解明への取組が具体的にわかるように記述する。

#### (7) 研究の成果と課題

- ① 研究で明らかになったことを簡潔にまとめる。
- ② 研究を通して明らかになった新たな課題や解決に至らなかったこと、さらに今後の研究の方向性も含めて簡潔にまとめる。

(8) 留意点

原稿の記述にあたっては、次の3点を踏まえる。

- ① 研究の積み上げを大切に、これまでの成果を継承しながら提案するものとなっているか。( 研究の継続性 )
- ② みんなで分担・協議して研究を深め、協働的な研究として提案するものとなっているか。( 研究の協働性 )
- ③ いつ、どこで、どのようにして教頭の役割や指導性を発揮したかが具体的に見えるよう提案するものとなっているか。( 研究の関与性 )

(9) 協議の柱

分科会で協議したい内容を書く。協議の柱は1本とする。  
「 教頭として、…… 」

5 原稿の表記について

(1) 文章表現について

- ① 文章は2～3行で1センテンスにするなど、簡潔に表現する。
- ② 文章は「～である」「～と思われる」など、常態で記述する。
- ③ 句点は「 。」 読点は「 , 」を使用する。
- ④ 文章の区切りなどに使用する。 , ・ 「 」( )などは1字分とする。
- ⑤ 表などの縦線は1字分取り、横線は行間に引く。
- ⑥ 漢字、熟語等の表記は別紙「漢字等の表記」を参照。
- ⑦ 項目だけが最終行にきて内容が次のページにくるような表記はさける。
- ⑧ 人権教育の観点からの配慮も必要である。

(2) 見出し記号の使い方

項目などの見出しに番号を付ける場合は、次のようにする。







